

ならはみらい

町内で見かける“かかし”の正体は?!

町内の至る所で見かけるたくさんのかかし。銀行や郵便局のATMでは振込詐欺の注意喚起をするほか、介護施設や温泉施設を活気づける役割も担っています。これらは、**なにかし隊**のかかしチームが制作しています。「町に帰ってきたが周りに人が少なく寂しい」という、隊員の声をきっかけに平成28年度より始まりました。子どもから大人まで個性的なかかしを作っている徳島県三好市の「祖谷かかし村」で学んだことを活かしながら制作しています。



金賞受賞作品

平成29年4月には、福島県平田村でおこなわれた「第1回市町村対抗かかしコンクール」において、見事、市町村の部で金賞を受賞しました!ご投票いただいた皆さん、ありがとうございました!



ならは
こども

タイトル 檜葉町から遠足に平田村へ来ました
6年ぶりに檜葉で再開したこども園の遠足をイメージしました。

町内で見かけたときは
是非一緒に写真を撮ってみてはいかがでしょうか?



銀行で振込詐欺の注意喚起をするかかし



まちの様子を見守るおしどり夫婦

なにかし隊

かかしづくり

【日時】毎月第3月曜日 9:00~15:00

※祝日の場合は第2月曜日

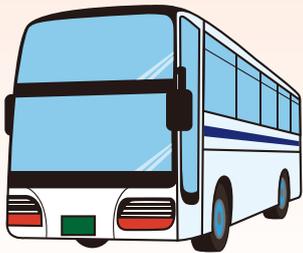
【場所】檜葉まなび館

4年1組教室(旧檜葉南小学校)



なにかし隊とは?

「ふるさと檜葉のためになにかしたい!」という想いを持つ町民の皆さんに登録いただいています。「町が大好き!」「手伝えることはするよ!」「なにかしたいけどどうしていいのかわからない...」という方!なにかし隊に入って一緒に活動しませんか?内容は隊員同士で集まって決めるもよし!事務局から届くお手伝い募集から自分の都合に合わせて参加するのもしよし!お問い合わせは「一般社団法人ならはみらい」までご連絡ください。



檜葉への想いを まちのチカラに!!

よりよいまちをつくるためには、町民の「内のチカラ」に加え、町外の「外のチカラ」も大切です。ならばみらいでは、町外の方に足を運んでいただく機会づくりに加えて、「また来たい!」「ずっと関わりたい!」という想いに応えられるような事業をおこなっています。(檜葉町からの受託事業を含む)

震災から7年が経過しようとしている今でも関心に向けてくださる方はたくさんおり、震災前以上のまちをつくるため、新たな視点での取り組みや意見を取り入れたいと考えています。

1 来て、知る

ふるさと案内人

檜葉町を伝える!

町内視察を希望される方を対象に「ならばふるさと案内人」を実施しています。町民自身が案内人となり被災状況や復興への取り組みを伝えながら町内をまわるほか、震災から現在に至るまでの経験をお話する「語り部」もおこないます。



ここなら商店街(仮設商店街)



檜葉遠隔技術開発センター



津波被災地域・除染廃棄物仮置き場を臨む展望台

平成27年度から事業を始め、現在は3名の案内人が在籍しています。

案内人をしていると沢山の方に出会い、そして現在の檜葉を知っていただくことができ嬉しく思います。(ふるさと案内人)



参加者の声

今回の学外研修を終え、「檜葉町のことを伝えたい」「また来たい」「復興に関わりたい」そんな想いが生まれました。大きなことはできなくても、まずは一歩。小さくてもそれぞれができることからはじめよう。そう思うきっかけになった1日でした。



当日の様子

(福島大学経済経営学類 新入生学外研修参加者)

申込実績

平成28年度……………44団体 計839名
平成29年度……………21団体 計662名

申込方法

ならばみらいホームページ内「ならばふるさと案内人」より申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ希望日の1か月前までに郵送またはFAXにてお送りください。
※その他の方法についてもご相談ください。

スタディツアー

「見て」「聞いて」「感じる」 檜葉町スタディツアー

昨年度より、交流人口を拡大するための事業(檜葉町より受託)の一環として、檜葉に興味関心のある大学生を対象としたスタディツアーを昨年計2回実施しています。

今年度は避難指示が解除されて丸2年となる9月5日におこない、青山学院大学、法政大学、立教大学、東洋大学から計20名が参加しました。



「知る」

町内視察

「食べる」

檜葉町の郷土料理
マミーすいとん

「学ぶ」

福島第一原子力発電所のしくみや
廃炉に向けた取り組みについての講話

「体験」

檜葉遠隔技術開発センターVR体験

「交流」

檜葉町で生活している
町民とのディスカッション



参加者の声

実際に行ってみないとわからないことがたくさんあるのだと感じました。想像よりも町は復興していたし、町民はまだ少ないけれども活気があり、温かい町でした。復興には町民やボランティア団体の努力だけでなく、福島県外に住んでいる自分達もできることがあり、例えば観光でもいいので関心を持続けることで、より活気のある町づくりに貢献できることを感じました。

(法政大学3年、男性20歳)

年度末には今回参加した学生を含めたスタディツアーの第2弾を計画しています。今後も檜葉町の現状や「ならばならでは」の魅力を伝え、町内外を繋ぐコーディネートをしていきます。

2 活動する

ならは応援団

ボランティアの募集

& 「やってみよう！」をサポート!

檜葉町を「ボランティアで応援したい!」「一緒に盛り上げたい!」という町外の方を対象とした「ならは応援団」という組織を運営しています。

「ならは応援団の皆さんには、以下の形で
ご協力いただいています。」

ボランティア

アイデア
(提案)

経済的支援

取り組み実績をご紹介します!

イベント運営のお手伝い
イベントにおける出展ブースの運営のお手伝いをおこなっていただいています。町民の方と一緒にイベントを盛り上げることで交流も生まれています。



子ども向けキャンプの企画・運営
「町を想う子どもたちに檜葉での思い出をつくってもらおう!」とお仕事探検をおこなうほか、夏休みの宿題のお手伝いをおこないました。



ならは応援団員数 計450名(団体登録:13団体 個人登録:170名)

応援団員募集!

檜葉町のために協力したい!という想いを持った方募集中です。団員の皆さんにはメール等でボランティア情報を送らせていただきます。ならはみらいホームページよりお申し込みください!

3 もう一度来る

みらいハウス

町内と町外を繋ぐ 活動拠点づくり

継続的な活動のために民家をお借りして、「みらいハウス」という活動拠点を整備・管理しています。(檜葉町より受託)
町の中心部からは少し離れますが、檜葉町の暮らしの一部を体験することができる場となっています。



利用者の声

拠点があることで滞在期間や活動頻度が増えました。

町民の方に野菜をいただくなど、滞在することによる新たな交流もできました!

利用者の活動内容 【関西大学社会安全学部 減災政策研究室 永松ゼミ】

町民へのインタビューからまとめた課題を、行政へ報告

震災から6年が経過した今、どんな状況の中で生活し、どんな課題があるのかを28名の町民の方にインタビューしました。学生たちが取りまとめた内容は行政へ報告しました。
滞在中は、周辺住民の方とバーベキューをするなど、町民の方の声を直接聞くことができる交流の場も生まれています。



利用者数

| | | |
|--------|-----|------------------|
| 平成28年度 | 9回 | 計988人泊 |
| 平成29年度 | 13回 | 計239人泊(11月30日現在) |

ご利用にあたって

町内でボランティア活動等をおこなう方(主に学生)やならは応援団員の方にご利用いただいております。興味のある方はご相談ください。

ディープなひと。

2013年から檜葉に関わり続けている京都・立命館大学の学生団体「そよ風届け隊」。ならは応援団員としても多彩な活動をおこなう皆さんの想いを紹介します。

Q1.これまでの活動は?

最初は、いわきの仮設住宅で足湯を用いた傾聴活動をおこなっていました。「名前と顔がわかる関係をつくらう」という想いから、檜葉の方との間で深いつながりができたのがこの時期です。避難指示が解除された2015年からは、町内を中心に活動しています。



仮設での足湯の様子

Q2.現在の主な取り組みを教えてください

檜葉

①ならはかわら版の制作>年に6回、町の広報に同封してお届けしている「ならはかわら版」の制作に創刊号から携わり、現在では取材やミーティングのために毎月1回のペースで訪れています。



かわら版取材の様子

②めっちゃめっちゃよばりキャンプの企画・運営>檜葉を想う子どもたちに町内で思い出を作ってもらおうと、京都で学習支援活動をする団体と一緒に夏休みにキャンプを実施しました。

京都

③京都での情報発信活動
>学園祭におけるマミーすいとん(福島県産野菜を使用)の振舞いや福島を舞台にした映画の上映会(約100名動員)をおこないました。

立命館大学 そよ風届け隊



映画上映会にてゲストの方と

Q3.これからの取り組み・想い

町民の皆さんの熱い想いに心を動かされる瞬間が私たちの原動力です。定期的に通うことで、一人ひとりの方と丁寧に話をすることを大切に、僕たちだからこそできるまちの変化に応じた活動をこれからも展開していきたいです。



震災後初めての稲刈りをお手伝い

10月28日(土)、震災後3回目となる秋空散策あるこう会が開催されました。

今年は2つのまちめぐりコースと木戸川渓谷コースが設定され、約400名の方が町内外から参加しました。町内の企業団体で集まり、設立された「榊葉町活性化協議会」として協力させていただきました。



町長のかかしがお見送り

あるこう会に向けた協議会の取り組み

- 1月に1度開催される企画検討会議の中でアイデアを出し合い、あるこう会を盛り上げよう決定しました。
- 榊葉の誇りである木戸八幡神社や広徳院をコースに組み込むアイデアを実行委員会に提案させていただきました。
- それぞれの団体の取り組みや特徴を生かしてできることを話し合いました。



会議の様子

榊葉町活性化協議会とは

平成29年4月に立ち上がった榊葉町内の企業・団体が連携し、町の活性化に向けた横断的な取り組みをおこなう組織です。「みらい輝く、ならはまちへ!」をスローガンに、町民による活動の活性化や交流拡大、ふるさととのきずなの継続のために取り組んでいます。

協議会参加団体

- 榊葉町商工会
- 一般財団法人榊葉町振興公社
- 榊葉町社会福祉協議会
- JA福島さくら榊葉支店
- 榊葉町老人クラブ連合会
- 榊葉町体育協会
- 木戸川漁業協同組合
- 社団法人南双広域シルバー人材センター
- 株式会社 Jヴィレッジ
- ならはスポーツクラブ
- 榊葉町食生活改善委員会
- 福島大学つくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト
- 社会福祉法人 広葉会 特別養護老人ホーム リリー園
- 一般社団法人ならはみらい

秋空散策あるこう会 in ならは

榊葉町活性化協議会

あるこう会における協議会の取り組み

コース上では…

1 休憩所の運営

コース内に設置した3ヶ所の休憩所にて、ゆずジュースの振舞いをおこないました。町外からの応援団員の協力も得て、ブースの運営をおこないました。



2 史跡紹介&かかしの設置

コース上にある17ヶ所の史跡を解説した紹介カードを福島大学サテライトを中心に、作成しました。なにかし隊が制作したかかしに設置し、歩きながらも楽しく知ることができる工夫をしました。「町民でも知らない情報があり面白かった」「かかしを探しながら歩くのが楽しかった」という感想をいただきました。



3 手作りメッセージの制作&沿道からの応援

施設前がコースになっているリリー園では、「心一つ」という参加者に向けた応援メッセージを飾りました。これは、利用者や施設の職員により手づくりされたものです。当日は、一部の利用者の方が沿道から声援を送りました。



4 紅葉汁の振舞い&ヤナ場見学

毎年恒例となっている木戸川の鮭の紅葉汁の振舞いに加え、ヤナ場での鮭の見学・解説をおこないました。応援団員の学生も協力しました。

メイン会場では…

5 情報発信ブース

活動紹介やイベントの告知に加え、募金活動や肌年齢測定など各団体の工夫が詰まったにぎやかなブースとなりました。ならはみらいでは、活動をサポートしている藍染め会の皆さんにご協力いただき、作品展示をおこないました。



6 郷土料理マミーすいとんの振舞い

商工会によるマミーすいとんの振舞いも例年通りおこなわれました。大変な冷えこみの中歩いてきた参加者の方々の心と体を温めました。



7 カレーの振舞い

参加者が毎年楽しみにしている食生活改善委員会によるカレーライスの振舞いも大人気でした。



ならはの愛で 藍を育てる

平成28年度から活動する「ならは藍染め会」の取り組みを生きがづくり事業の一環としてサポートしています。

藍染め会は、町民の方の繋がりをきっかけに広島県福山市の小学生が育てた藍の種を頂いたことから始まりました。育成から収穫、染色まですべて自分たちの手でおこない、会員の皆さんが講師をする体験教室も開催しています。試行錯誤を重ねる中で技術が向上し、素敵な作品がたくさん生まれています。



種まきの様子



藍の畑



みんなで畑仕事

この取り組みを多くの方に知ってもらうことを目的に、様々なイベントで展示しています。体験教室の開催等については、随時チラシ等でお知らせいたしますので是非ご参加ください！



体験教室参加者と

花とみどりプロジェクト 2017

このプロジェクトは、町内を花でいっぱいにして！という思いから3年前に始まりました。これまでは町民の方に呼びかけ、町の中で最も交通量の多い国道6号線沿いを中心に花植えを実施してきました。昨年度からはプロジェクトの推進期間を設定し、個人宅での花植えに加え、地域の絆を強めることを目的とした行政区主体の花植え活動など町内一体の取り組みをおこないました。



「お花でハッピー大作戦！」
略して「花ハピ！」

- 🌸 花植えでみんなに会えてハッピー♪
- 🌸 花が増えているいろんな場所で気分がハッピー♪
- 🌸 花を見た人が笑顔でハッピー♪

○第1弾 花ハピ週間 平成29年5月27日(土)~6月11日(日)

- 作戦① >> 各行政区での花植え活動
- 作戦② >> 地元企業・団体の皆さんと花植え活動
- 作戦③ >> 個人宅での花植え活動

○第2弾 花ハピ月間やまゆり再生! 平成29年11月6日(月)~11月30日(木)

- 作戦① >> 各行政区での花植え活動
- 作戦② >> 天神岬にやまゆりを定植
- 作戦③ >> 個人宅での花植え活動



やまゆり定植活動参加者の皆さんと

参加者の声

やっぱり町の花を増やさないとな!

こうやって集まって話せるのはいいねえ。

第2弾では前回よりも多くの行政区や個人の方に花ハピ作戦に参加していただき、少しずつではありますが町に人が増えていることを実感した1年となりました。今後も、花いっぱいの町を目指して取り組んでいきますのでご協力お願い致します!

NOW 平成29年 檜葉町の主な動き

- 3月 Jヴィレッジ 国内初全天候型サッカー練習場建設開始
- 4月 檜葉小中学校・あおぞらこども園 町内での授業再開
ならはスマートインター着工
- 6月 中満災害公営住宅 除幕式
- 8月 地場産野菜の青空市「ならSUNマルシェ」開始
ほっつあ〜れ2017盆楽祭 開催
- 9月 ならは商業・交流施設 起工
中学生の提案をまちづくりに反映させる「中学生室」発足
- 10月 檜葉小中学校・町民合同運動会の実施
JR常磐線 富岡駅一竜田駅間運転再開
- 11月 波倉メガソーラー発電所竣工

NEWS お知らせ

募集 なにかし隊員

「ふるさと檜葉のためになにかしたい!」という思いを持った町民の方にご登録いただき、町内でおこなう活動の協力依頼のお手紙を送らせていただいております。
今年度はかかし作りに加え、小学生との花植え活動や、毎朝放送されるメッセージ集め等をおこないました。**みんなでワイワイ活動したい方、お友達を増やしたい方、こんなことできるよ!**という**特技を持った方**、大歓迎です!

募集 ふるさと案内人

町内視察を希望する方に震災による被害状況や復興への取り組みを伝える**町内ガイド**の他、震災の経験を語り継ぐ**語り部**として活動して下さる方を募集します。震災から7年が経過しようとしている現在も、「福島・檜葉のことを知ろう」と多くの方が檜葉町を訪れています。これまでの**経験や今の想いを後世に語り継ぐための活動**をしてみませんか。
お話頂く内容や町の最新情報については、一緒に更新・共有していきますのでご安心下さい。
※報酬やスケジュール・全体の流れ等詳細については「ならはみらい」までお問い合わせください。

募集 ならは応援団員

檜葉町を応援したい!という思いを持った町外の方々にご登録いただき、事務局よりボランティア協力をお願いのお知らせをする他、「こんなことがやりたい!できる!」という提案をもとに活動を一緒につくるケースもあります。応援して下さる方の存在は「檜葉のチカラ」になります。**目指せ1000人!**応募をお待ちしています。

告知 藍染め

ならは藍染め会では、畑づくりから一緒に活動して下さる方の募集を4月に向けておこなう予定です。詳細は広報に同封するチラシにてお知らせいたしますのでご確認ください。

PICK UP 今号の一枚

プロレスラー宮本和志氏 ならは応援団スペシャルサポーターに!

双葉郡富岡町出身の宮本和志さんは、復興への願いを込めたチャリティプロレスを開催してくださっています。
何度も立ち上がるレスラーの姿を通して檜葉町民にも勇気を与えてきました。檜葉町のためにご協力いただきたいと思います。



これからも檜葉町と共に復興を盛り上げていきたいと思えます。

MIRAI ならはみらい事務局メンバーのご紹介



専務理事:蛭田 勇成 (ひるた たけなり)

#いわき市泉出身
#県庁職員時代の影のあだ名は“鬼(仏)のヒルタ”
#好きなもの:早寝・朝酒・朝湯
#嫌いなもの:殺生



事務局長:永山 光明 (ながやま こうめい)

#山田岡出身
#役場職員OB
#家は木戸駅前の永山商店
#90歳まで生きるのが目標!!



事務局次長:歳森 健司 (としもり けんじ)

#大阪府出身
#20数年のサラリーマン経験を活かしたい。
#お昼は、ほぼいつも“あんパン”
#好きなもの:ラジオ



事務局員:竹之内 啓文 (たけのうち ひろふみ)

#群馬県出身
#“ネコバス”に似ていると噂
#好きなもの:ラーメン
#嫌いなもの:かえる



事務局員:牧ノ原 沙友里 (まきのはら さゆり)

#下井出身
#うしお会で太鼓やっています!
#約7年間東京にいました
#嫌いなもの:カマドウマ(便所コオロギ)



事務局員:西崎 芽衣 (にしざき めい)

#東京都出身
#今年京都の大学を卒業しました
#ならはかわら版つくっています
#好きなもの:米と豆腐と日本酒!!

発行者・問い合わせ先



一般社団法人ならはみらい

住所:〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 5-5 檜葉町公民館内

電話:0240-23-6771 FAX:0240-23-6772

Mail:narahamirai@tuba.ocn.ne.jp Web:narahamirai.sakura.ne.jp/